

# MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2014年9月★第109号

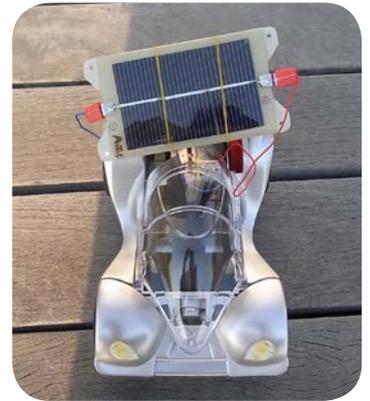
## 親子で仲良くエネルギーの大切さについて楽しく学びました！

「親子でソーラーカーを作ろう！」

日時：7月21日（月・祝）10：00～12：00

会場：フォレスト仙台 第2フォレストホール

今年は定員の3倍近くのご応募があり、定員を大幅に拡大して83名の参加者での開催となりました。会場は夏休みに入ったばかりの子どもたちと保護者のみなさんで熱気が溢れていました。自然エネルギー×クイズでは、省エネルギーや地球温暖化に関する問題を出題しました。全問正解者が続出し、景品のエコ箸をもらい子どもたちは大喜び。太陽光パネルを利用したソーラーカー作りでは、普段忙しいお父さん、お母さんと一緒に親子仲良く時間を過ごしていたのがとても印象的でした。



今回作成したソーラーカー



仙台市の気温の変化について学びました！



親子並んで仲良くソーラーカーを作りました！

**MELONとは** 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

### MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
  - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
  - ボランティアや部会に参加することによりボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
  - 年5回の情報紙をお届けします。
  - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

### Index

- P1 親子で仲良くエネルギーの大切さについて楽しく学びました！
- P2 定禅寺夕暮れ生きものさんぽ「セミナー・ホッターと秘密の穴」をさがせ！  
／雨のコボスタ宮城で元気な子どもたちに会えました！
- P3 色はピンク？それともどどり？～7月20日 サイエンスステイ2014～  
／気仙沼で「復興とエネルギーを考えるシンポジウム」を開催
- P4 MELONcafe ブチ講座  
／かんきょう読み聞かせ「ホッキョクグマのウィンストン」
- P5 協同組合からのお知らせ  
／100人リレートーク 大越健治さん
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7 企業と地域社会との関わり方のツボを押さえよう  
／学生ボランティアと取材勉強会開催
- P8 仙台湾沿岸部の水のやさみ情報募集/イベント一覧/編集後記

## 定禅寺夕暮れ生きものさんぽ 「セミー・ホッターと秘密の穴」をさがせ！

日 時：8月2日（土）15：00～18：00  
場 所：勾当台公園、定禅寺通り、西公園  
ガイド：青葉の森緑地レンジャー  
半澤夏実さん、高橋千尋さん  
参加者：親子15名

定禅寺通りは、700mの距離に樹齢100のケヤキが166本並ぶ“杜の都”仙台の顔です。しかし、交通量も多く日頃ゆっくりと歩くことも少ないのではないのでしょうか。そんな定禅寺通りに生きものはいるのか？いつもと違う視点で街なかを歩いてみようとして『セミー・ホッターと秘密の穴』をさがせ！」を開催しました。

今回のテーマの「セミの穴」、参加した親子の約3割は見つかったこと、出発地点の勾当台公園では、「もう見つけたよ！」という子どもの案内で樹木の下の土を見



あれセミの穴じゃないかなあ！（定禅寺通り）

てみると…あり

ました、小さな穴が！こんな街なかの公園にもしっかりと生きものが息づいているのですね。

期待して定禅寺通りを歩いてみると、まったく穴を見つけられません…。しかし、ガイドをしてくれた半澤さん高橋さんが、ミミズの道やカラスの羽など子ども達の小さな発見を拾い上げながら楽しく案内してくれたため、飽きることなく西公園に到着です。西公園では、道路沿いと川沿いとに分かれて散策。道路沿いではちらほらと穴がありましたが、川沿いではたくさんの穴があいています！セミのぬけがらもいっぱい見つけて子どもたちは大喜び。

最後に地図にプロットしてみると、「イチョウやサクラの木のおぼがかった」「セミは車の音が嫌いなんじゃないか」など、いろいろな発見がありました。今回だけの事なのか、他の場所でも同じなのか、ぜひ自宅の周りでも調べてみてほしいですね！



このセミのぬけがらは何のセミだ？（西公園）

## 雨のコボスタ宮城で元気な子どもたちに出会えました！

コボスタ宮城エコ体験ブース  
日 時：8月8日（金）～9日（土） 16：00～  
参加者：85名（2日間合計）

楽天イーグルスの本拠地、コボスタ宮城では、毎年恒例となった夏の子ども向け企画「koboスタ宮城エコ体験ブース」を設置し、MELONがボランティアとともにサポートしました。本来は8月8日から10日までの3日間開催する予定でしたが、台風の接近による雨のため3日間とも試合が中止となり、10日は午前中に試合中止が決まったため、2日間の開催となりました。16時からお客さんがいなくなるまでの



雨の中でも大にぎわいのエコ体験ブース

短い時間のブース設置でしたが、雨にも負けず元気な子どもたちがたくさん集まってくれました。

内容は、10級から1級まで各級20問ずつあるエコ検定にチャレンジし、16問正解で合格、2級合格するごとに楽天特製シールがもらえるというものです。

豪雨で蒸し暑い中でしたが、子どもたちは楽しそうに検定に取り組んでくれました。温暖化などの知識は学校での勉強で知っている子が多いものの、コボスタでの分別ルールやレジ袋の素材などに関する問題には苦戦していました。試合中止で短時間しかできなかったことが心残りですが、楽しい2日間でした。



スタッフに質問を連発する子どもたち

## 色はピンク？ それとも みどり？ ～ 7月20日 サイエンス・デイ2014～

東北大学川内キャンパスで開催された幼児、小中学生を対象にした科学イベント「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ2014」に、MELON水部会は4年連続のブース出展をしました。紫キャベツの汁を絞って、そこにレモン果汁や重曹、卵白などを点滴して色の変化を見るというものです。紫キャベツにはアントシアニンという色素が含まれ、酸性ではピンクに、アルカリ性では緑系に変色するという性質があります。この実験をとおして水溶液の基本となる性質には酸性のものとアルカリ性のものがあるということを感じてもらおうというものです。

紫キャベツのしぼり汁で染め、乾燥させた紙にレモン汁と重曹水で塗り絵をするコーナーも作り、子どもたちは「妖怪ウォッチ」の人気キャラクターの下絵をピンクや緑に塗ってお土産に持ち帰りました。

また、保護者の方にはハーブティーのマロウブルーの試飲コーナーを設け、レモン果汁を垂らすとすぐにピンクに変色、味も格段においしくなることを体験してもらいました。

水部会のコーナーへの立ち寄り者は約370人と大好評でした。



ピンクになる理由はね、と解説



幼児も小学生も一生懸命



レモンと重曹水で描いたお花畑

## 気仙沼で「復興とエネルギーを考えるシンポジウム」を開催しました！

日時：6月28日（土）10:00～16:30

会場：気仙沼市生協集会所ほげっと

参加者：午前27名、午後65名

講師：長谷川公一さん（東北大学大学院教授）

門田陽子さん（ストップ温暖化センターみやぎ運営委員）

三浦秀一さん（東北芸術工科大教授）

後藤一磨さん（南三陸木の家づくり互助会会長）

石川勇人さん（石川電装株式会社代表取締役）

LED工作教室：パナソニック株式会社

※公益財団法人日本生命財団の助成で開催しました。

気仙沼地域で住宅を建設予定、リフォームを検討中の方を対象に「復興とエネルギーについて考えるシンポジウム」を開催しました。

午前中にパナソニック（株）の被災地支援の一環でLEDランタン講座を行い、省エネのお話をしながら作成しました。



東北工科大学の三浦先生にエネルギーのお話をいただきました。

午後は各分野の専門家をお招きして講演いただきました。森林資源を薪やペレットなどの熱エネルギーに活用する提案

や、地元の工務店に県産材を使用した住宅建設を依頼すると雇用の増加につながったり運搬の化石燃料が少なくて済むこと、震災後はどういったエネルギーが望ましいのかなどを

長谷川先生と三浦先生よりお話しいただきました。また、実際に南三陸の地元材で住宅の再建を進めている後藤一磨さんや家の省エネに詳しい門田陽子さん、ペレットストーブ販売店の石川勇人さんに、その意義や課題点をお話しいただきました。参加者からは「復興するときは地元の資源を活用したい」「太陽熱温水器は必ず設置したい」「消費者目線の節約が勉強になった」「家を建てる際の参考にしたい」との声が聞かれました。今後も引き続きこれから建設される住宅に、環境に配慮された設備が取り入れられるよう活動を行っていきたいと思います。※今回のシンポジウムで紹介した小冊子「杜に住まうエコな家。～宮城県産材を使った木造住宅のススメ～」は無料で配布しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。



多くの方々にご参加いただきました。



# MELONcafe

6月21日(土) 13:30~15:00  
 「かわいい☆リメイクキャンドル作り」  
 7月19日(土) 13:30~14:30  
 「米粉でかんたん♪つめたいミルクゼンざい作り」

6月は式場で使用されたロウソクを溶かしリメイクキャンドル作りを行いました。ちょうど夏至の日に行い、100万人のキャンドルナイトと連動して開催しました。最初に、ごみの減量についてお話をしてから作成開始。参加者からは「カラフルなキャンドルができてよかった。」「今日帰ってから灯してみたいです。」などの感想をいただきました。



使用済みのロウソクを溶かしました。

7月は米粉の使用を促進するため、米粉でつめたいミルクゼンざい作りの講座を行いました。現在日本では食料自給率が

39%と戦後以降、輸入食材に押されています。地元の米粉を使って伝統の和菓子料理をすることで自給率のUPにつながります。今回の講座のレシピは企業交流部会のメンバーでもある株式会社明治さんのご提供です。使用した材料は「白玉粉」で「もち米」を細かく砕いたものです。暑い時にひんやり米粉スイーツをおいしくいただくのもいいですね！



米粉の白玉をゆでました。

9月には、食品の廃棄量を減らすことを目的に「残りごはんをおやきづくり(試食)」を行います。ちょっとひと手間をかけることで残りごはんをおいしくいただくことができます。一緒に作ってみませんか？

## 今後のMELONcafe プチ講座

9月27日(土) 13:30~14:30  
 「残りごはんをリメイク☆じゃがいものおやき作り」  
 10月11日(土) 13:30~14:30  
 「古着をリメイク♪ブックカバー作り」



## ホッキョクグマのウィンストン -クマたちの災難-

カナダには地図で見ると、深くえぐり込んでいるようなかたちのハドソン湾があります。その湾のほとりにあり、エコツーリズムで名前が知られているチャーチルという町のお話です。

地球の温暖化によって、北極の氷がどんどんとけているという話は知っていますね。北極圏で暮らすシロクマたちからみれば、大変なことになっています。シロクマたちは氷がなくなるとえさを探していくことができないのに、夏の間にもとけないで残っている氷の面積がどんどん小さくなっています。

今回はジーン・デービス・オキモト文、ジェレミ

ア・トレメル絵、千葉茂樹訳「ホッキョクグマのウィンストン」(ランダムハウス講談社、2008年10月)を読みましょう。



ホッキョクグマの

ウィンストンは集まったシロクマたちに、自分が書いた本を見せ、地球に温暖化をもたらす「人間たちにわからせなければいけない」と力説します。ああ、この演説をきいているほかのシロクマたちの表情がいいですね。シロクマたちは、行動しました。ウィンストンたちは「どんなにちいさなことで」とプラカードを作り、エコツーリズムに参加したお客さんにアピールをしました。

わたしには、じっとこの本を見つめると、プラカードを持って立っているシロクマたちの後ろに、放射能に汚染されたものを食べて、体内の放射線量が高いままのイノシシやクマたちのことが見えてしまうのです。本はときどき、読む人を別の立場に連れて行ってくれます。ウィンストンよ！演説のへたな私たちに代わって、海を越えて日本のクマたちのためにも、どうかひと肌脱いでくれないか。

## 各協同組合からのお知らせ

MELONの協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

### みやぎ生活協同組合からのお知らせ

#### 「秋の森を楽しもう～向大倉山観察・体験会～」参加者募集

大倉ダムの上流にある「こ～ぷの森向大倉山」で秋の森の観察・体験を行います。

午前中はフィールド内を散策し、森づくりのためのツル切りや枝打ちなどを体験。小さい子ども向けに設置したターザンロープなどもありますよ。午後は切り取ったツルでリース作りや「ごみを捨てないで」の看板づくりを行います。

開催日程：10月18日（土）現地体験時間 10：00～15：00（予定）

集合場所・時間：バス乗車→仙台駅東口バスプール 9：00

現地集合→大倉ダム湖畔公園 9：45

参加費：バス乗車 大人 1,000円 中学生以下500円

現地集合 大人 500円 中学生以下250円 未就学児無料

持参物：昼食、飲料、軍手、ノコギリ（あれば）、帽子、雨具

申込締切：10月10日（金）

申込方法：お名前、電話番号、住所、子どもの年齢を明記し、下記までお申込ください。

申し込み・問合せ先 みやぎ生協生活文化部 くらしの活動事務局

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663 メール：sn.mkankyok@todock.jp

※MELONみやぎ里山応援団と協働で開催します。



## 目指せ100人！ 環境リレートーク



第52人目の執筆者

大越健治さん

（みやぎ生活協同組合専務理事

／MELON副理事長）

新たにMELONの理事に就任しました大越健治です。MELON情報紙の読者様にみやぎ生協の環境活動の紹介をしてもありきたりで、新鮮味に欠けると思われますが、今回はコープフードバンクのご紹介をいたします。フードバンク活動は、食品廃棄物削減という面で、環境活動ともつながっています。

農林水産省のアンケート調査では、フードバンクの認知度はまだまだ低く、知らない人が74.8%、聞いたことはあるが活動内容を知らない人まで含めると93.8%だそうです。フードバンクを直訳すると「食料銀行」、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける社会福祉活動です。

昨今、日本の食料自給率は39%台と4割を下回る中、まだ食べられるのに廃棄されている食べ物は年間500万トン～800万トンに上るといわれています。一方で日本の相対的貧困率は16%で、食べ物に不自由している人も多数存在します。みやぎ生協は2012年4月、コープフードバンクを設立、食べられるのに廃棄されてしま



コープフードバンクに届いたお手紙

まう食品を企業から無償で提供を受け、支援を必要とする福祉施設・団体に寄贈して、食品を有効に活用させてもらっています。現在食品提供企業は50社、提供先施設・団体は118団体になり、徐々にではありますが活動の輪が広がっています。提供企業のみならず、サポーター、ボランティアも募集しています。興味がありましたら、こちらへお問い合わせください。

コープフードバンク TEL：022-779-1556

…次号執筆者紹介…

昆野加代子さん

（みやぎ生活協同組合生活文化部）



# ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.65

## 家庭の省エネのプロを目指す！～うちエコ診断士等養成研修開催～

日 時：第1回 6月22日（日） 10：00～16：30  
 第2回 7月 6日（日） 10：00～16：30  
 会 場：宮城県庁内の会議室  
 講 師：一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット  
 沖慎司さん、松本新さん  
 一般財団法人 省エネルギーセンター 都築巧さん  
 受講者：20名  
 主 催：宮城県（運営事務局：ストップ温暖化センターみやぎ）



6月22日座学の様子

県内におけるうちエコ診断の拡充を図るため、平成26年度より環境省認定の公的資格となった「うちエコ診断士」の資格取得を目指すための「宮城県うちエコ診断士等養成研修」を開催しま

した。2回にわたって開催された研修では、座学、デモ診断、ロールプレイングなど盛りだくさんの内容となりましたが、受講者のみなさんには熱心に参加いただき意欲の高さがうかがえました。試験は、8月（筆記）と9月（実技）に行われ、10月より合格した新規のうちエコ診断士のみなさんが活動を開始



7月6日ロールプレイングの様子

します！

### うちエコ診断実施中

実施期間：2014年7月1日～2015年1月中旬

実施件数：80件（定員に達し次第締切）

申込・問い合わせは、ストップ温暖化センターみやぎ（022-301-9145）まで。

※ウェブ申込が簡単です。「家庭エコ診断制度」で検索！

## 推進員だより No.14

### サイエンス・デイ2014で活動

川村真貴さん、今野勇さん、千葉きえ子さん、吉田美緒さん

7月20日（日）に東北大学川内北キャンパスで開催された「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ2014」で、推進員グループ「太陽と私」のみなさんが省エネゲームと手回し発電ぬいぐるみを展出了。このツールは、昨年度のツール作成研修で「太陽と私」のみなさん自身で完成させたものです。小学生から大人まで幅広い世代の方に楽しみながら省エネについて考えるきっかけ作りができたのではないのでしょうか。座る間もないくらい大忙しの日でした！



太陽と私のみなさん

## みやぎエコドライブ 実践プロジェクト2014始動！



エコドライブシュミレーター体験中！

今年度の環境省補助事業として、一般市民や企業を対象としたエコドライブセミナーの開催や地域イベントにてエコドライブシュミレーター体験会を開催することで、

自動車からのCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指すプロジェクトを展開しています。また、燃費計を用いて、セミナー前後の燃費を測定しCO<sub>2</sub>削減量も測定します。心がけているつもりのエコドライブも、燃費を測定してみるとまだまだ改善の余地が大きいことに気づきます。この機会にぜひセミナーやエコドライブシュミレーターを体験して、燃費向上に努めましょう！（一般向けのセミナーは10月以降開催予定。MELONからの情報を要チェック！）

## 「企業と地域社会との関わり方のツボを押さえよう」 ～ CSR（企業の社会的責任）とCSV（共有価値の創造）～

日 時：6月16日（月）14：00～16：30  
 会 場：フォレスト仙台2F 第5会議室 参加者：21名  
 講 師：  
 黒田かをりさん（一般財団法人CSOネットワーク 理事・事務局長）  
 コーディネーター：  
 遠藤智栄さん（地域社会デザイン・ラボ代表、MELON 理事）  
 コメントーター：五十音順  
 小野幸助さん（株式会社建築工房零 代表取締役）  
 利光保則さん（株式会社明治東北支社お客様相談室室長）  
 佐藤弘樹さん（株式会社伸電 代表取締役）

企業のCSR担当者や行政などを対象にセミナーを開催しました。※CSR（Corporate Social Responsibility - 企業の社会的責任）

近年「CSRからCSVへ」としてCSV（Creating Shared Value - 共有価値の創造）が注目されています。東日本大震災後の被災地支援においても、この視点で取り組みを検討する企業が増え、企業が本業の製品・サービスあるいは事業によって社会的課題の解決に貢献しようとするCSVを、どう捉えればよいのか模索する

企業も少なくないと思われます。今回の講座では、CSVは環境・人権・労働課題などのCSR課題を解決できるのかという視点や、CSVは地域社会にどんなインパクトを与えるのかといった視点からこれからのCSRとCSVについて考え深める情報交流の場として開催しました。

講師の黒田かをりさんに、CSRとCSVについて説明を事例を交えながら講演していただきました。その後コメントーターとして企業交流部会のメンバーの3名が各企業のCSR活動と講師の講演の感想を発表し、講師が感心されるくらいの先進的な内容でした（詳しくは各企業のHPをご覧ください）。会の最後には参加者間で情報交換や各企業の悩み事などを相談することができ有意義な会となりました。今後も企業と環境について交流したり、知識を深めるイベントを引き続き行っていきます。



講師の黒田さんにCSRとCSVの説明をしていただきました。

## 学生ボランティアと取材勉強会開催！

〈第1回〉  
 日 時：6月21日（月）15：00～17：00  
 会 場：MELON事務局  
 講 師：後藤敏道さん  
 （ハリウ コミュニケーションズ株式会社営業部 部長）  
 遠藤真吾さん  
 （ハリウ コミュニケーションズ株式会社連携推進室 室長）  
 参加者：学生9名

〈第2回〉  
 日 時：7月5日（土）10：00～12：40  
 会 場：MELON事務局 参加者：学生4名



取材勉強会風景

情報センターでは、学生ボランティアと協働して「会員団体訪問記」として、MELONの企業・団体会員の環境についての取り組みを紹介しています。学生にとっては社会学習のチャンス！そのために取材勉強会を開催しました。

強会を開催しました。

第1回目は、MELONの会員企業であるハリウ コミュニケーションズ株式会社の後藤さんと遠藤さんを講師にお招きし、取材とライティングの仕方を学習。学生が遠藤さんにインタビューし、10分間で紹介記事作りに挑戦！学生さんたちは自分の実力がわかったとショックを受けている様子でしたが、同時にまたやってみたいという意気込みも引き出されていました。「相手が話している事をいかに正確に聞き取って文章にするか」という事と、読み手の事を考えながら書くことの難しさを学びました。「これからは、新聞記事を読んだり、天声人語を書き写すことなどをやってみたい。」などの感想がありました。

その意気込みを受けての第2回目。環境サークルRNECSと環境活動サークルFROGS所属の学生が参加していたため、「MELONと共に活動している環境学生サークルの紹介」というテーマで模擬取材に挑戦。取り組んだ記事は、MELONの事務局ブログに掲載しています。

学生同士のつながり、MELONとのつながりを育て、今後も共に活動していく輪を広げていきたいと思えます。取材記事をお楽しみに！

## Wanted! 仙台湾沿岸部の 水の神さまを探しています。

水部会が進めている「沿岸地域の『水の神さま』が繋ぐ水と人の歴史文化伝承プロジェクト」がWNI 気象文化大賞を受賞し、支援を受けることになりました。

水の神さまとは「水神碑」「竜神碑」「弁財天」「浪切不動尊」など庶民が航海の安全、長雨・洪水忌避と適度な降雨、水利施設の安全など水に対する思いを込めて祀ってきたものを言います。

東日本大震災の津波により、宮城県沿岸部の住宅・農地に限らず、水の神さまも石碑が割れたり、社屋が流されたりと被害を受けました。

地域の再生のシンボルとして住民こそって再建に取り組んでいるものもあれば、防潮堤工事などで消えてしまうものもあります。消え失せない前に記録として残すことを目的にしたプロジェクトです。

みなさまからの「水の神さまがあるよ」「あったよ」という情報の提供を待っています。



## MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

9/9 (火)	自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
9/10 (水)	企業交流部会 例会
9/20 (土)	「MELON フェスタ (第 19 回 MELON 会員と市民のつどい)」開催
9/24 (水)	「仙臺農塾『仙台発祥・納豆が世界を救う?! ~立ち上がれ農業!~』開催
9/25 (木)	MELONcafe 企画部 例会
9/27 (土)	MELONcafe ブチ講座「残りごはんをリメイク☆じゃがいものおやき作り」開催
10/5 (日)	ベガルタ仙台「ユアスタ エコ体験ブース」開催「しちがはま環境フェスタ」にブース出展
10/11 (土)	MELONcafe ブチ講座「古着をリメイク♪ブックカバー作り」開催
10/12 (日)	「りふ環境まるごとフェア 2014」
10/26 (日)	「仙臺農塾 大人の遠足・加美町編『里山でパワーチャージ! ~加美町の風土を味わう~』開催
11/5 (水)	「仙臺農塾『セツ森発! 新米食べ比べと大人の芋煮会♥』開催
11/8 (土)	「ごみ減量・3R 展」にブース出展

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

## 編集後記

■七夕期間は小売り店以外の仙台市内（宮城県内？）の企業は全てお休みにしたらいいですね。そうすれば地域全体でおまつりを盛り上げる気運も高まる？（小林）

■事務局のSさんから買った、ひょうたんの種、すくすく成長し、2メートルを超える高さに。でも実は一個も出来ません。なぜだろう!?（三浦）

■夏バテには、温かく滋養があって消化に良いものが効くというところを実感しました。体調管理は大切ですね！（高橋）

### 〈会員状況〉

777 名

法人 78

任意団体 13

個人 689

2014 年 7 月 30 日現在

### ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをする、1 ポイント差し上げます。5 つ貯まると 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換できます。



### MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部が MELON に寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。



発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network  
〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/



この印刷物は、輸送・マイレージ低減による CO<sub>2</sub> 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。